

### 1.1.7 地下水によるグラウトの劣化？

次表は地すべり地で実施した基本調査試験結果であり、各現場とも2本程度を実施している。そのうち、D,H現場では2本中、1本が低荷重で引抜け、その摩擦抵抗は他孔の1/3程度と小さい。

低荷重で引抜けた孔で地下水検層を実施した結果、定着層内に有圧裂か水が確認され、アンカー体グラウトの劣化をもたらすなどの影響を及ぼしたと思われる。

その他、第4紀の砂礫層などでも、地下水がある場合は極端に摩擦抵抗が小さくなる傾向にあり、アンカー工における定着地盤の地下水対策は重要である。

表 1.7.1 摩擦型アンカー基本試験結果

年度	現場	試験 No	破壊荷重 kN	定着地盤の地質	摩擦抵抗 MN / m <sup>2</sup>	強度比 (%)	地下水の確認
55	A	1	392.0 以上	風化砂質頁岩	0.62	100	
55		2	274.4	風化砂岩	0.44	70	
57	B	1	470.4	砂岩～砂質頁岩	0.75	100	
57		2	431.2	頁岩	0.69	92	
57		3	78.4	砂岩～砂質頁岩	0.12	17 ×	
57	C	1	441.0 以上	頁岩	0.70	100	
57		2	235.2	頁岩	0.37	53	
58	D	1	539.0 以上	頁岩	0.86	100	
58		2	196.0	頁岩	0.31	36 ×	
58	E	1	539.0	頁岩	0.86	100	
58		2	490.0	頁岩	0.78	91	
58	F	1	686.0 以上	砂質頁岩	1.09	100	
58		2	548.8	砂岩	0.87	80	
60	G	3	686.0	頁岩	1.09	100	
58		1	539.0	砂質頁岩	0.86	79	
60		4	392.0	頁岩	0.62	57	
58		2	392.0	砂質頁岩	0.62	57	
59	H	1	666.4 以上	砂岩	1.06	100	
59		2	245.0	頁岩	0.39	37 ×	
60	I	4	637.0 以上	砂岩	1.01	100	
59		1	539.0	砂質頁岩	0.86	85	
60		3	539.0 以上	砂岩	0.86	85	
59		2	392.0	砂質頁岩	0.62	62	
59	J	1	441.0	砂質頁岩	0.70		
59	K	2	539.0	砂岩	0.86	100	
59		1	441.0	砂質頁岩	0.70	82	
59	L	1	686.0 以上	砂岩	1.09	100	
59		2	686.0 以上	砂岩	1.09	100	

(試験孔の定着長 2m, 定着径 100mm。  
強度比: 50~70%, ×50%未満)